

ま っ さ き に あ な た へ

# ま 廣 さ 報 き

[www.town.masaki.ehime.jp](http://www.town.masaki.ehime.jp) Public Relations

Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.



特 集

いつも、松前の人の中に

義農作兵衛

pick up

税の確定申告

家族のきずな

岡本真也さん 渚さん  
心葉ちゃん 碧葉くん

Boys & Girls,  
Be Ambitious!

永井飛向くん

2

February 2014  
No.447



## いつも、松前の人の中に 義農作兵衛

自分の身を犠牲にし、麦種を守った「義農作兵衛」。

その生き方に感銘を受けた松前の人々は、さまざまな形でその精神を語り継いできました。

義農作兵衛の死から280年余りが過ぎた今一。

当時と比べ暮らしは豊かになりましたが、人と人のつながりは希薄になるなど価値観も変わってきました。

そんな今だからこそ、あらためて「義農作兵衛」と向き合い、  
義農精神をみんなで共有する必要があるのかもしれない。

座談会で義農作兵衛を見つめ直す中で、私たちにとっての「義農作兵衛」について考えます。



岡本真也さん 渚さん  
心葉ちゃん 碧葉くん (北川原)

### ◎ PROFILE

おかもと・しんや 会社員。趣味はゴルフ。松山市出身  
 おかもと・なぎさ 会社員。今は碧葉くんの子育てに奮闘中。松山市出身  
 おかもと・こは 歌って踊ることと先生ごっこが好き。3歳  
 おかもと・あおば 5カ月になった家族のアイドル

## 家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーでつないで紹介するコーナーです。お誘いが来たらぜひ登場してくださいね。

北川原に住む岡本さんファミリー。思いやりの心があふれている家族です。

「妊娠中から心葉を遊びに連れて行って助かりました」と真也さんのことを話す渚さん。碧葉くんが生まれてからも、休みがあれば心葉ちゃんと公園へ遊びに行っています。一方、真也さんも「家事育児を頑張ってくれている」と、家事や子育てに奮闘する渚さんをねぎらいます。

そんな両親の元で育った心葉ちゃん。渚さんは「最初は赤ちゃん返りがあった」と碧葉くんが生まれたころを振り返ります。でも、今では碧葉くんを抱っこしたりおむつを替えようとしたりと、すっかりお姉ちゃんです。

そんな心葉ちゃんが好きなことは先生ごっこ。お父さん、お母さんや碧葉くんを自分の前に座らせて、絵本を読んだりピアノを聞かせたり。碧葉くんが小さくてなかなか外に出れない分、家族みんなで楽しく過ごすこの時間が、岡本さんファミリーにとって思いやりの心を育む時間なのかもしれません。

今回は、心葉ちゃんの幼稚園のお友達、岡村樹奈ちゃん＝南黒田＝ファミリーをご紹介します。

## Contents

- 02 家族のきずな 岡本真也さん・渚さん・心葉ちゃん・碧葉くん
- 03 特集 いつも、松前の人の中に 義農作兵衛
- 08 税の確定申告
- 10 まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業
- 12 Monthly Topics 秋の叙勲 / 成人式 / 消防出初式ほか
- 15 まちのわだい ひまわりバスにサンタクロース / 新春年賀のつどいほか
- 16 まさきの ecology 生活
- 17 News 交通災害共済加入受け付け / 放課後児童クラブ入会希望者募集ほか
- 19 松前の防災力
- 20 消防署だより
- 21 Information ボランティア推進員募集 / 無料調停相談会 / 差押え不動産公売会ほか
- 22 公共施設からのお便り 図書館 / 包括支援 / 公民館
- 24 Smile & Smile 1歳です よろしくね / おうちで給食 / Boys & girls Be, Ambitious! 永井飛向くん / ふるさと歴史散歩
- 26 行ってこーわい 会ってこーわい 小笠原峰士さん



### 表紙

1月10日、松前保育所の子どもたちは雪遊びに夢中です。田崎永馬くん、富岡愛穂ちゃん、野村貴仁くん、重松頼偉斗くん、中村淳暉くんは、雪を集めてにっこり。みんなで楽しい時間を過ごしました。

●表紙の“Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.”はキャッチフレーズの「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさき」です。

## 義農作兵衛 (1688 ~ 1732)

松山藩筒井村(現松前町筒井)の農家に生まれる。幼いころから農業に励み、食べ物がなく餓死者が続出した享保の大飢饉(1732)でも休むことなく田を耕し続けたが、飢えに苦しみ倒れてしまう。

それでも後世のことを思い、麦一粒食べることなく、自分の命を引き換えに麦種を残した。義農作兵衛とその精神は今も松前の人に受け継がれ、神社をはじめ太鼓やまんじゅうなど、さまざま形で残されている。



早坂暁さん×白石勝也町長

# 今、義農作兵衛について考える。

**早坂** 私の母方の実家である堀江も海辺ですが、近くに円明寺というお寺があります。その住職が、クルス(十字架)が彫られているお墓を見せてくれました。この辺りはキリスト教徒が多かったらしく、その人たちがお墓だそう。伊予のキリストンについては、愛媛大学名誉教授である小沼大八さんの著書「伊予のかくれキリストン」に

**山内** 大胆な仮説ですね。

**町長** さすがに私も初めて聞く話です。

**早坂** 史料の中には「伊予国正木(松前)」という地名が出てきます。「感心すべき清い生活の信者多し」と書いてあるんです。それとキリストの「一粒の麦」の教え。義農作兵衛が麦を大事に守ったのはキリスト教のヨハネ伝の教えをかたくなに守った

### もっと詳しく

「一粒の麦、地に落ちて死なずば、唯一つにてあらん、もし死なば、多くの実を結ぶべし」

これは、キリスト教の聖書「ヨハネによる福音書」12章24節に出てくるキリストの言葉です。

「一粒の麦は地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。しかし、死んだら多くの実を結ぶことになる」という意味になります。



白石 勝也町長



松前の誇りである義農作兵衛を町内外へアピールするため、物語を制作することとした当町。作者は愛媛県出身の作家、早坂暁さんです。完成を前に、町ロゴマークを作成した山内敏功さんをコーディネーターに迎え、白石町長と3人で義農作兵衛についての座談会を行いました。



早坂 暁さん  
愛媛県松山市(旧北条市)出身の作家。著書に「花へんろ」「夢千代日記」など多数。東京都在住。

からだと思いました。あとキリスト教は一時は布教されたけれど、途中から弾圧されますよね。弾圧される中で物証がなくなっただんたんということにも結び付いていきました。これを行ったのは、時の政府である幕府です。特に松山藩は幕府の親藩だから、幕府に従順に従った。ただ、幕府にも農民は大事だという思想があります。また、松前の人たちはおたさんがいたように松山城を造るときも藩に対して非常に献身的だった。そういう土地柄の中で、作兵衛を義農としてたたえる形で顕彰して

**早坂** 信者が多かったのだと思います。飢饉は死につながりますから、その状況は私たちの想像を超える悲惨なものです。その中で食べ物を守り切るのは至難の業です。食べ物があると分かれば奪い合いになったでしょう。でも義農作兵衛の周囲はそうならなかった。一人ではなく、みんなで守ったからだと思えます。

からだと思いました。あとキリスト教は一時は布教されたけれど、途中から弾圧されますよね。弾圧される中で物証がなくなっただんたんということにも結び付いていきました。これを行ったのは、時の政府である幕府です。特に松山藩は幕府の親藩だから、幕府に従順に従った。ただ、幕府にも農民は大事だという思想があります。また、松前の人たちはおたさんがいたように松山城を造るときも藩に対して非常に献身的だった。そういう土地柄の中で、作兵衛を義農としてたたえる形で顕彰して

**町長** 義農作兵衛やその家族、周辺のお百姓さんの中にも信者がいたということですか？

**町長** 来年が今の松前町になつて60年という、人間でいえば還暦にあたる大きな節目の年になるので、これからの町づくりや目指すべきものについて考えました。そのときに一番に思い浮かんだのが義農作兵衛です。私自身、小さいころからずっと松前には義農作兵衛という、村を、農家を救った偉人がいることを聞いてきました。町長の仕事をやるに当たっても、義農作兵衛の「義農精神」を町民みんなが共有して、人のために尽くすという気持ちを持った町を目指すのが、松前町の方向ではないかと考えています。そして、今の時代だからこそ義農作兵衛を町民だけでなく、町外

**早坂** 歴史的には浅く、こないだの出来事であるのに痕跡を残すものがありませんね。

**山内** 町制60年を迎えるに当たりさまざまな展開を行おうとする中で、地元の人びとが大きな大事にしている「義農作兵衛」についての一つの物語を、早坂先生に作ってもらおうという話になりました。義農作兵衛については内容に不確かな部分もあるようでした。今回新しい視点からの話が聞けるそうです。完成前に松前の皆さんにお知らせするため、この場が用意されました。

**早坂** 私も義農作兵衛の話は聞いてはいましたが、詳しくはありませんでした。ご依頼を受けて現地へ行ってみたら、調べれば調べるほど不思議に思いました。神社や銅像があるけれども実像が全く分らない。そして、その物証が残っていないというところに着目しました。



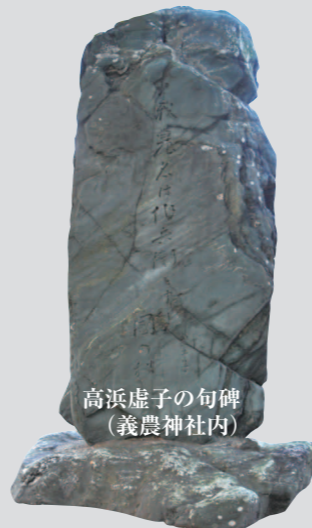
## 私たちの心にいる 義農作兵衛を 見つめ直してみよう

### もっと詳しく

義農作兵衛をたたえ、多くの著名人が俳句や和歌を詠んでいます。一部は句碑として顕彰されています。

宮立てて  
稲の神とぞ  
あがめける  
正岡子規

義農名は  
作兵衛と申し  
國の秋  
高浜虚子



高浜虚子の句碑  
(義農神社内)

松前の人なら知らない人はいない「義農作兵衛」。普段の生活の中でも、さまざまな場面で義農作兵衛に関わる機会があります。

今回の座談会では、信仰心に裏付けされた信念の強さという、新しい視点からの義農作兵衛像も話されました。その中でも変わりなく大切なのは、「人のため」に命を懸けたという行為にみんな感銘を受けたということ。そして、それを自分たちだけでなく、後世にも伝えたいという思いを多くの人が持っていたということです。

私たちにとって大切なのは、このような当時の人の思いを色あせることなく後世へ引き継いでいくことです。人と人とのつながりが希薄になり、お金が大事だと考えがちになった、価値観が変わった今だからこそ。あらためて義農作兵衛とその精神に向き合い、行動や考え方を見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。その後の行動や考え方の一つ一つは、きつと未来を輝かせる礎となるはずです。

あなたの心にいる義農作兵衛を今、見つめ直しませんか？



## 現代に通じる「義農精神」。 そして未来へ。

**山内** この新説が発表されたら皆さんは驚くでしょうね。

**町長** そうですね。ただ我々は義農作兵衛が何者であれ、自らを犠牲にして地域の人を救おうとしたその行為をたたえているのであって、例えキリシタンでもそれは変わりません。

**山内** 行為は事実であって、変わらないということですね。

**町長** そのとおりです。昔から俳句や和歌など義農作兵衛をたたえる歌があります。これらを見ると義農作兵衛の行為に感銘を受けたのは事実だということが分かると思います。人のために自らを犠牲にするくらいの気持ちを持つこと。そして、それを後世に引き継ぐことが松前の町づくりの一番の根本だと思います。

**早坂** キリシタンはまさにその考えです。義農作兵衛は「一粒の麦」の精神を信じ、周りの信者と麦を守り抜いた。飢えに苦しむ飢饉の中では、強い信仰心がないとそれを守れない。みんなそのような信仰心に支えられていたのだと思います。

**町長** 人のためといえば、今の日本人の「大きな災害があれば外国でも支援に行こう」という気持ちは素晴らしい。一方で文明技術はどんどん進み、人に頼らなくても自分一人で生活できるといような風潮もある。両極端なものがある現代で、今の日本人にとって義農作兵衛の精神は大事なものだと思います。

**早坂** そのとおりです。切羽詰まったら人間は何をするか分かりません。修羅場のような状況で、「人を助けるといふことは、

この麦をまいてたくさんを麦を作り食べてもらうことだ」という信念を誰が持てるのか。今の時代がそうです。現代はお金です。お金さえあれば何でもできると思っているけれど、お金は大抵不幸せを呼びます。その風潮と同じです。人のために尽くすのはできそうではない。

**山内** 話が盛り上がってききました。時間がきました。物語は春になれば聞けると思います。

**早坂** 義農作兵衛を見よとは、愛媛の一部の地域の話ではなく、人間を、現代を見よということに近い警鐘になると思います。

**町長** 松前町が歩むべき大きな方向性が、先生のお話を聞いて間違いではなかったことを確認しました。これからもその方向で進んでいこうと思います。

## 松山税務署からのお知らせ

### ▶ご利用ください 振替納税制度

所得税などや個人事業者の消費税の納税方法は、振替納税が安心で便利です。新たに振替納税を希望する場合は、税務署か預貯金先の金融機関に「預貯金口座振替依頼書」を提出してください。平成25年分の所得税などの振替納付日は4月22日(火)、個人事業者の消費税の口座振替日は4月24日(木)です。

### ▶さらに便利で使いやすくe-Tax

自宅や事務所から申告や納税ができるサービスです。国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータをそのまま取り込み、電子申告することができます。

#### ●e-Taxのメリット

- ①ホームページから簡単申告
- ②確定申告期間中は、24時間提出(送信)可能
- ③添付書類の提出省略可
- ④還付がスピーディー

詳しくはe-Taxのホームページ (<http://www.e-tax.nta.go.jp>) をご覧ください。

※e-Taxでの電子申告には、電子証明書付きの住基カードやICカードリーダーが必要となります。

### ▶記帳義務の拡大

これまで、個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の合計額が300万円を超える人に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存制度が、1月からは事業所得などを生ずべき業務を行う全ての人(所得税の申告の必要がない人を含む)にその適用が拡大されました。

### ▶松山税務署での確定申告相談

**期 間** 所得税など 2月17日(月)～3月17日(月)  
贈与税 2月3日(月)～3月17日(月)  
消費税・地方消費税 ～3月31日(月)

※土・日曜日、祝日を除きますが2月23日(日)、3月2日(日)は実施します。

**時 間** 9時～16時

**場 所** 松山税務署(松山市若草町4-3松山若草合同庁舎)

**内 容** 所得税など、贈与税、消費税・地方消費税の申告書類などの作成

**持参品** 右記の「申告に必要なもの」参照

●松山税務署 ☎941-9121(自動音声案内)

## 町県民税

### 申告が必要な人

平成26年1月1日現在、町内に住所があり、前年中の状況が次の①～③のいずれかに該当する人です。  
ただし、所得税などの確定申告をした人は必要ありません。

- ① 営業、農業、不動産、パート、配当などの収入があった人
- ② 給与所得以外の収入があった人
- ③ 年金所得以外の収入があった人

### 申告に必要なもの

- ① 印鑑(認印で可)
- ② 税務署から申告書を送付されている人はその申告書
- ③ 給与や年金の平成25年分の源泉徴収票
- ④ 営業、農業、不動産所得がある人は、収支内訳書(収入、経費を必ず集計してきてください)
- ⑤ 社会保険料、生命保険料、地震保険料などの控除を受ける人は、領収書や支払(控除)証明書
- ⑥ 医療費控除を受ける人は、支払った医療費の領収書(必ず集計してきてください)
- ⑦ 還付金の受取口座(本人名義)番号が分かるもの

## 所得税と復興特別所得税 (以下「所得税など」)

### 申告が必要な人

▽給与や退職所得以外の所得の合計が20万円を超える人  
▽給与を2カ所以上の事業所からもらっている人  
▽年金の収入金額が400万円を超える人または年金以外の所得が20万円を超える人  
▽事業をしている人、不動産

収入がある人、土地や建物を売った人などで、平成25年中の所得合計額が基礎控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超える人  
▽平成25年中の給与収入が20万円を超える人

### 還付申告

申告の必要がない場合でも、次のような人は、申告をすると源泉徴収された所得税などが還付される場合があります。  
▽住宅借入金等特別控除の適用を受けることができる人  
▽年末調整を受けていない人  
▽医療費控除や寄附金控除を受ける人など  
※還付を受けるために確定申告をする場合は、給与や退職所得以外の所得の合計が20万円以下でも、これを含めて申告しなければなりません。

# 2月17日(月)～3月17日(月) 税の 確定申告

確定申告期間中は、下記の日程で申告相談を実施します。期限内に申告をしなかったり、誤った申告をしたりすると、後で不足の税金を納めることになるだけでなく、加算税や延滞税も納めなければなりません。正しく早めに申告しましょう。不動産、株式(特定口座以外の場合)などの譲渡所得がある人は、松山税務署で申告してください。

### ◆役場申告会場

**日時** 2月17日(月)～3月17日(月) (土・日曜日は除く)  
9時～11時30分、13時～16時

**場所** 役場2階大会議室

※役場正面玄関入口は7時30分に開きます。  
※混雑状況によっては午前中に受け付けをしても、申告相談の開始が13時以降になることがあります。あらかじめご了承ください。

### ◆各地区公民館・集会所

期間	9時～11時30分	13時～16時
2/20 (木)	—	徳丸
21 (金)	大溝	中川原
24 (月)	永田	神崎
25 (火)	横田	出作
26 (水)	東古泉	鶴吉
27 (木)	北川原	大間
28 (金)	恵久美	上高柳
3/3 (月)	塩屋	昌農内
4 (火)	南黒田	西高柳
5 (水)	新立	西古泉
6 (木)	本村	筒井
7 (金)	宗意原	北黒田

●町県民税について 税務課町民税係 ☎985-4110  
所得税などについて 松山税務署 ☎941-9121

1 日目 「夏以来 <sup>まつまえ</sup>松前友達 うれしいな 石崎椋介くん作(松前小6年)」

飛行機を乗り継いで、待ちに待った北海道へ。まつまえの友達と5カ月ぶりの再会にみんな笑顔いっぱいです。

▶函館空港で5カ月ぶりの再会



函館空港に着くと、横断旗を持ったまつまえの皆さんが温かく迎えてくれました。5カ月ぶりの再会にあふれる笑顔。移動中の車内でも、まさきとまつまえの子どもの笑いが絶えませんでした。

▶ネイパル森で書道交流



吉田歩生くん  
松前小6年

書道交流をしました。一人3画ずつ書いてみんなで協力して、いい字ができあがりました。みんなと前より仲良くなれて楽しかったです。

▶雪遊び 予定になかったけれど、真っ暗になるまで目いっぱい楽しみました。



河内裕里ちゃん  
松前小6年

とにかく雪に興奮しました。冷たくて気持ちよかったです。でも、まつまえの人たちは「この雪の量で積もったっていいの?」とっていて驚きました。

2 日目 「初めての スキーを滑り すぐこける 井口漱一朗くん作(北伊予小6年)」

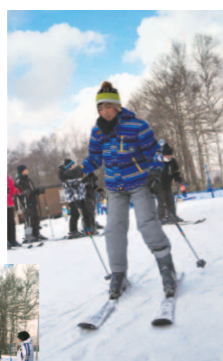
みんなが心待ちにしていたスキー体験からスタートした2日目。ふかふかの雪の上でのスキーを目いっぱい満喫です。

▶スキー体験



菊池利久くん  
岡田小6年

スキーは慣れると楽しかったです。先生の話したことをやってみるとうまくできました。リフトで登るときに話すのも楽しかったです。



▶まつまえ町役場訪問



まつまえ町役場では、町長、副町長と教育長が出迎えてくれました。



井口漱一朗くん  
北伊予小6年

役場に行ったとき、まつまえの漫画が入っていました。時間があるときに読んでみたいです。今日は人生初、いかの塩辛を食べました。

▶道の駅で海鮮ざんまい



イカやアワビの海鮮類やまつまえの海苔など…。海の幸を満喫しました。



大地楓ちゃん  
松前小6年

道の駅を貸し切って夕食を食べました。甘えびとイカさしとアワビ、そしてデザートソフトクリームもおいしかったです。

3 日目 「白銀の 雪の世界に さようなら 山内舜くん作(岡田小6年)」

北海道最後の日。あつという間の3日間。お別れはさみしいけれど、たくさんの思い出ができました。

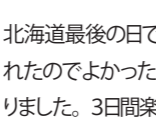
▶松前漬け作り体験



早瀬菜奈ちゃん  
北伊予小6年

昔ながらの松前漬け作りは根性が必要だなと思いました。手が痛くてたまらなかつたです。みんなとの最後の思い出だと思つくと、さみしかったです。

▶お別れ



石崎椋介くん  
松前小6年

北海道最後の日に悲しかったけれど、楽しく終われたのでよかったです。また北海道に行きたくなりました。3日間楽しかったです。



渡邊ゆめのちゃん  
岡田小6年

まつまえのみんなとのお別れはとても悲しかったです。けれど住所の交換もしたので、手紙を送って、この交流を忘れないようにしようと思いました。

まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業

愛媛から北海道まつまえ町へ  
冬の北国で深まった友情



姉妹都市提携を結んでいる本町と北海道松前(まつまえ)町は、ふれあい交流事業を行っています。本年度も25年7月29日から31日まで、まつまえ町から子どもたちがやってきました。これに引き続き、25年12月26日から28日、今度のはまさきの子どもがまつまえ町を訪問。スキーや松前漬け作り体験などを

通し、まさきでは体験できない北国の冬の楽しさや厳しさ、まつまえの文化に触れました。さらに、交流を通して連絡先を交換し合った子どもたち。友情も深められ、一層かけがえのない思い出となりました。本事業が終わった後も1500キロの距離を超え、子どもたちの交流は続いていくことでしょう。



1\_2日目、スキー体験にて。ふかふかの雪の上で集合写真 2\_雪の上で大はしゃぎ 3\_雪を集めて、雪玉を。雪合戦の準備だ 4\_雪の上で大の字。少し冷たいな



### 1年の無火災を誓って

平成 26 年消防出初式

「平成 26 年松前町消防出初式」は 1 月 12 日、松前公園多目的広場で行われ、消防団員など消防関係者が集い、火災予防意識の決意を新たにしました。

オープニングセレモニーでは、岡田中学校吹奏楽部の演奏、松前湧水太鼓の披露と続き、松前町少年消防クラブ員が防火標語を掲げて火災予防を呼び掛けるなど、式典に花を添えました。式典には、松前町消防団、松前町少年消防クラブ員などから約 500 人が参加。分列行進、車両行進が厳粛な雰囲気の中実施され、最後は一斉放水が披露されました。

また、活動に功績があった団員や団体への表彰状伝達も行われ、被表彰者を代表して、第 2 分団分団長の阪井良展さんは「消防精神にのっとり、団旗のもとと業務に精励します」と謝辞を述べました。

表彰された人は次のとおりです（敬称略）。



㊦ 団旗のもと、団員らによる分列行進  
㊧ 松前町少年消防クラブ員による火災予防啓発  
㊨ 火点に向かって勢いよく放水する消防団員



#### ▶知事表彰

松前町消防団

第 9 分団 団員 忽那 俊幸

第 1 分団 団員 住田 英次

#### ▶愛媛県消防協会長表彰

#### < 功績章 >

第 2 分団 分団長 阪井 良展

第 7 分団 副分団長 大西 博暁

#### < 勤続章 >

昌農内班 分団長 関谷 一郎

東古泉班 副分団長 大西 浩一

中川原班 班長 加藤 寛之

大間班 班長 池田 正幸

新立班 団員 湊 義明

東古泉班 団員 三好 真一

#### < 規律章 >

南黒田班 班長 濱田 淳司

徳丸班 班長 八束 健

神崎班 班長 鎌倉 雅之

塩屋班 班長 川本 誠

#### < 団体感謝状 >

松前小学校少年消防クラブ

#### < 家族内助の功労者 >

第 2 分団団員夫人 京極 七美

第 4 分団団員夫人 西村しほみ

第 6 分団分団長夫人 重松 綾子

第 8 分団団員夫人 日野 由里

#### ▶纏会長表彰

第 1 分団 北黒田班

第 6 分団 永田班

第 9 分団 塩屋班

#### ▶町長表彰

#### < 個人表彰 > (消防団員歴 1 年以上)

第 1 分団 南黒田班 青野 勝也

南黒田班 坂本 文広

第 2 分団 宗意原班 森野 義弘

宗意原班 津田 藤紀

新立班 河内 峻

第 3 分団 筒井班 泉 智也

本村班 高須賀篤史

第 4 分団 徳丸班 名本 克哉

出作班 西村 広幸

出作班 西山 哲人

出作班 酒井 優

第 5 分団 神崎班 池内 泰介

第 6 分団 横田班 古野 学

第 9 分団 北川原班 新島 直浩

#### < 優良班表彰 >

(消防団活動で他の模範となる班)

南黒田班 新立班

鶴吉班 東古泉班

上高柳班 西古泉班

#### < 特別表彰 >

(県消防操法伊予地区大会出場)

第 2 分団 第 5 分団 第 8 分団

#### < 一般協力者表彰 >

佐伯 吉幸 = 鶴吉 =

水口 稔 = 鶴吉 =

#### ▶団長表彰

第 5 分団

#### ▶日本消防協会長表彰

(平成 26 年 2 月以降受章者)

#### < 精績章 >

神崎班 分団長 水口 泉

#### < 勤続章 >

南黒田班 団員 横山 眞史

筒井班 団員 谷口 正喜

徳丸班 団員 仙波 規孝

上高柳班 副分団長 大西 博暁

恵久美班 団員 郷田 利久

恵久美班 団員 大政 真

昌農内班 団員 田中 賢二



### 本町から 2 人が受章

平成 25 年秋の叙勲 / 第 21 回危険業務従事者叙勲



\* 瑞宝双光章【厚生行政事務功労】  
三井 英光さん  
みつい・ひでみつ  
元国立病院四国がんセンター事務部長 78 歳 宗意原

昭和 35 年に中国地方医務局（現 独立行政法人国立病院機構 中国四国ブロック事務所）に採用されて以来、地域医療の最前線に立って、その発展に尽力してきました。退職後も社会保険労務士の資格を取得し、現在も社労士として活躍しています。

三井さんは「病気に関する経験を生かして、障害年金のことで困っている人を助けたい」と、受章の知らせに、より一層のまい進を誓っていました。



\* 瑞宝単光章【矯正業務功労】  
辰野 好徳さん  
たつの・よしのり  
元法務事務官 63 歳 筒井

昭和 55 年に法務省に採用されて以来、法務事務官として、松山刑務所などで受刑者への矯正指導に携わってきました。

辰野さんは「この仕事は地味で大変ですが、毎日の積み重ねです。二度と同じことを繰り返さないという思いを持って矯正指導してきました」と当時を振り返り、「亡父の瑞宝双光章の受章に近づけた」と顔をほころばせていました。



### 60 年の節目を祝って

松前幼稚園創立 60 周年及びリニューアル記念ふれあいまちつき会



㊦ 餅まきの様子。夢中で拾う園児たち ㊧ おたたちちゃんも一緒に踊ったまさき音頭 ㊨ つぎたてのほかほかのお餅を丸める園児と保護者

松前幼稚園創立 60 周年及びリニューアル記念ふれあいまちつき会は 1 月 17 日、同園内で開催され、園児とその保護者、卒園者など幅広い世代の住民が参加しました。

本会は、園の創立 60 年と耐震化工事の完了を記念して開催されたもの。白石勝也町長が「地震があっても倒れない強い建物になりました。しっかり遊んで元気な子になってください」とあいさつすると、子どもたちも「新しい幼稚園でドミノタワーなどをして遊んで、ひまわりのような笑顔あふれる幼稚園にします」と元気いっぱいに答えていました。

その後園児たちは両親、祖父母や地域の人たちと一緒にまさき音頭を踊ったり、お餅つきをしたりして、楽しいひとときを過ごしていました。

▼ 1月10日  
**雪遊びに大満足**



朝から降り続いた雪で、町内がほんのり雪化粧をしたこの日、松前保育所では子どもたちが雪遊びをしました。  
「冷たい」と声を上げながら、雪玉を作って投げたり雪だるまを作ったりする子どもたち。雪はあっという間に溶けてなくなってしまいましたが、それでもめったに見ることができない雪にみんな大満足していました。

▼ 1月16日  
**商工会婦人部が災害対策基金へ寄付**



松前町商工会婦人部はまさき町夏祭りの売り上げの一部を、松前町に寄付しました。  
同部は、平成18年度から毎年、夏祭りでのバザーの売り上げ金の一部を大規模地震災害対策基金に寄付しています。  
白石勝也町長は「本年度はこの基金で資機材の配備などを行いました。今後も防災のため有効に使用します」と話していました。

▼ 12月25日  
**ひまわりバスにサンタがやってきた**



クリスマスの12月25日、町職員が扮したサンタクロースと伊予警察署員がひまわりバスに乗車し、反射材やファイルなどの交通安全グッズをプレゼントしました。  
年末年始の交通安全とひまわりバスの利用促進を呼び掛けながら渡されたプレゼント。利用者は思いがけないクリスマスプレゼントに笑顔になるとともに、交通安全への意識を高めていました。

▼ 1月6日  
**新春を祝い、年賀のつどい**



平成26年新春年賀のつどいは、松前総合文化センターで開催され、町民や来賓など約300人が出席しました。  
冒頭で白石勝也町長は、「来年は町制60年という大きな節目を迎えます。節目を前に松前をもっとPRしていきたい」とあいさつ。この後、参加者はあいさつを交わして新年を祝い、互いに親睦を深めていました。



④思い出アルバムに見入る北伊予校区の新成人たち  
⑤乾杯して成人を祝う ⑥抽選会の様子。喜びを体で表現する当選者

**302人が大人の仲間入り**  
平成26年松前町成人式

成人の日を前に1月12日、「2014松前町成人式」が松前総合文化センターで開催され、225人が出席しました。  
式典前になると振り袖やスーツ姿の新成人たちがぞくぞくと集まり、会場は華やかな雰囲気。友人や先生との久しぶりの再会を喜び、声を上げて手を取り合う姿が見られました。  
式典では記念撮影や記念品抽選会のほか、新成人たちの小、中学校時代の写真をまとめた「思い出のアルバム」が上映されました。当時の写真が出る度に歓声を上げ、顔をほころばせて当時を懐かしんでいました。  
また新成人を代表して高須賀健太さん＝恵久美＝が、「日々、知恵と努力と行動で、地域にも貢献していきたい」とあいさつ。成人を迎え、決意を新たにしていました。

**にこまるにっこり**  
にこまる贈呈式

JA松山市（森映一 代表理事組合長）と岡田・松前うまい米づくり部会（豊田年秋 部会長）は1月8日、「にこまる」90キロを町に贈呈しました。このお米は、夏場の高温でも品質や食味がよい米ができることで注目されており、平成26年産米から学校給食でも使用される予定です。今回は、園児や高齢者など幅広く住民の皆さんに知ってもらうとともに、喜んでほしいという思いで贈られました。お米は、町内6保育所、社会福祉協議会と和楽園に配布され、皆さん給食などでおいしくいただきました。



⑥にこまるを手を持つ白石勝也町長、森映一組合長、豊田年秋部会長 ⑦炊いたごはんをおにぎりにする子どもたち（小富士保育所）



**珍味の新ブランドを発売へ**  
四国珍味商工協同組合



四国珍味商工協同組合（荻野奉晴理事長）は1月15日、珍味の新ブランド「せとうちIRICO生活」（鶴崎宗正ブランド化推進委員長）の発表会を行いました。  
小魚珍味加工生産量日本一の当町の珍味を全国に発信するためブランド化に着手した同組合は、今回、組合内の10社の10商品をブランド品として認定しました。どの商品も瀬戸内海産のカタクチイワシを使用し、無添加で安全にも配慮。消費者が安心して手に取れるようにこだわっています。  
今後、県外のイベントにも積極的に参加し、同ブランドを全国に届けていく予定です。



# 暮らしのごみダイエット法 生ごみ水切り

平成24年度に松前町から排出された焼却ごみのうち約3266トンは水分です(25メートルプール約13杯分に相当)。この水分を蒸発させるために約5500万円を費やしています。

生ごみを水切りして出すことは、ごみ処理経費の削減につながるだけでなく、▽ごみが軽くなるので、ごみ出しが楽になる▽悪臭や腐敗の防止になる▽などの効果があります。



町民課ごみ対策係 ☎ 985-4117

混ぜればごみ。分ければ資源。

## 紙類リサイクル

皆さんの家庭から排出された紙類は、ティッシュやトイレットペーパーなどに再生されています。

紙類は正しく分別し、それぞれ固くひもで縛って出してください。ひもで縛りづらい小さな紙類は、紙袋に入れて口をしっかり折るか、雑誌などの間に挟み込んで、一緒に縛って出してください。

(×で表示したものは、可燃ごみです)

### 新聞

- 折り込みチラシも一緒に縛る
- ×油や泥で汚れたもの、一度ぬれたもの

### 紙パック

- 500ミリリットル以上の紙パック
- ×内側が銀色コーティングのもの、500ミリリットル未満のもの

### 段ボール

- 切り口断面が波状のもの
- ×油や泥で汚れたもの、一度ぬれたもの

### 雑誌類

- 書籍、雑誌、菓子箱、包装紙、台紙、封筒、紙袋、小さな紙、シュレッダー紙など
- ×ティッシュ、写真、アルバム、カーボン紙、感熱紙、紙皿、紙コップ、アイスクリーム・ヨーグルトの紙製容器、ビニール表面加工紙など

### 【お願い】

ごみは必ず収集当日、午前7時までに所定の場所に出してください。

特に紙類は夜間・早朝の持ち去り行為を防止するためにも、ご協力をお願いします。

## 病气やけがで障がいが残ったら 障がい基礎年金

国民年金加入中に※初診日がある病气やけがなどで、障がいの状態になったとき、※障がい認定日に一定の基準に該当していれば、障がい基礎年金を受けられます。

ただし、一定の納付要件を満たしていることが必要ですので、ご注意ください。

なお、20歳前に初診日がある人は、障がいの状態が一定の基準に該当していれば、20歳から受給できます。ただし、本人に一定額以上の所得や他年金の受給がある場合は、支給が制限されます。

- ※初診日：障がいの原因となった病气やけがについて、初めて医師の診療を受けた日
- ※障がい認定日：初診日から1年6カ月を経過した日またはその期間内に症状が固定した日
- ※請求の手続きなど、詳しくはお問い合わせください。

問 町民課住民係  
☎ 985-4106

松山西年金事務所国民年金課  
☎ 925-5175

## 交通災害共済に加入しましょう

▼受付期間 2月3日(月)～平成27年3月30日(月)の執務時間中

▼申し込み方法 今月号の広報まさきと一緒に配布している申込書に必要事項を記入し、掛金と合わせて受付場所までお持ちください。

- ▼加入資格 26年4月1日現在町内に住み、住民基本台帳に登録されている人や加入者の被扶養者で町外に住む人
- ▼掛金 大人700円、中学生以下300円
- ▼共済期間 26年4月1日～27年3月31日(途中加入の場合は加入した翌日から)

- ▼受付場所 ①町民課コミュニティ係(役場1階) ②税金の出張申告時の各地区の公民館や集会所
- 問 町民課コミュニティ係  
☎ 985-4228

## 結婚50年目のご夫婦を表彰します

金婚式を迎えるご夫婦のお祝いを、4月に行われる各校区の老人クラブ総会に併せて行います。

町内在住で、結婚50年目のご夫婦(昭和39年中に結婚したご夫婦)は、各校区の老人クラブ会長または健康課地域包括支援センターまでご連絡ください。

- 問 松前校区会長 重川 源  
☎ 984-2208
- 北伊予校区会長 深沼 静良  
☎ 984-9335

岡田校区会長 山口 久夫  
☎ 984-3451

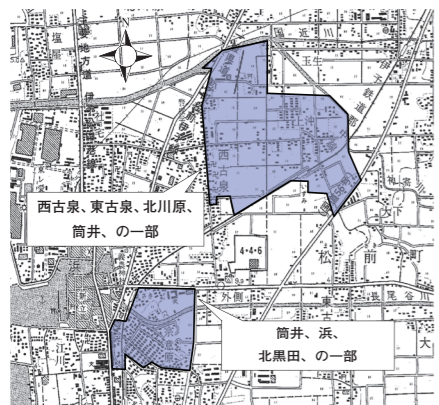
健康課地域包括支援センター係  
☎ 985-4205



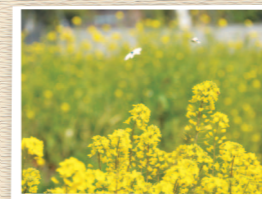
## 地籍調査成果の登記事務が完了

平成23年度に現地調査を行った「筒井、浜、北黒田、の一部地区」と「西古泉、東古泉、北川原、筒井、の一部地区」の成果について、法務局登記事務が完了しましたのでお知らせします。

- ▼登記完了日 25年11月29日
- 問 産業課国土調査係  
☎ 985-4127



## 小さな子どものための 自然観察会 野々っ子くらぶ



松前公園で小さな春を探します。子どもと一緒に自然と触れ合いませんか。

### 第④回小さな春探しの会

- \*日時 3月13日(休) 10時～11時30分
- \*場所 松前公園(子育て支援センター集合)
- \*対象 就園前の子どもと保護者  
大人だけでも参加できます。
- \*服装 帽子、運動靴(サンダルはやめましょう)
- \*持ち物 お茶、タオルなど
- \*申し込み 前日までにお電話ください。  
(先着15組)
- \*申込先 町民課生活環境係 ☎ 985-4117  
子育て支援センター ☎ 985-4151

## 松前の防災力

危機管理係 ☎ 985-4103

自助・共助で取り組む

## わが家の災害対策講座 ～第7回～

vol. 15

### 非常持ち出し品を備えよう

#### ●非常持ち出し品とは?

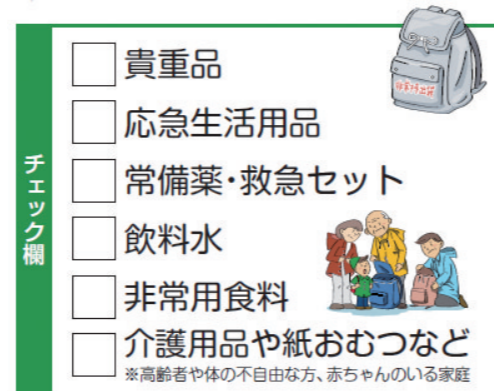
非常持ち出し品は、リュックサックに入る程度の大きさで、被災したときに避難所で1日をしのぐために用意するものです。

災害時に避難所に逃げた後、家に生活必需品を取りに行こうと思っている人がたくさんいます。しかし、余震などの危険があるため、1日程度は命が安全な場所に避難しておく必要があり、すぐに家に帰ることはできません。

玄関や寝室など持ち出しやすいところに準備しておき、すぐに持ち出せるようにしましょう。

#### ●どんなものが必要?

右のリストを使って、用意できたものからチェックしていきましょう。



応急生活用品には現金（公衆電話使用のため特に10円玉）、ラジオ・ナイフやはさみ・缶切りなどが付いている複合ツールなどを入れておきましょう。また笛を入れておくと、家に閉じ込められたときや避難途中に人を呼ばないといけないうきに役立ちます。

### Topics

#### 南海トラフ巨大地震の被害想定

～松前町の死者 258 人～

平成25年12月26日、県は地震被害想定調査（最終報告）を発表。県内の人的被害、建物被害、ライフライン被害などが数値化されました。松前町では死者258人、全壊建物3,055棟、避難所避難者（1日後）11,783人など非常に大きな被害が発生すると予想されています。

しかし、あくまでこの数値は「最悪の場合」を想定したものであり、減災対策をしていない場合です。自助・共助・公助で取り組む減災対策をすれば、死者数は5分の1、建物被害は10分の1、避難所避難者数は4分の3に減少すると予想されています。

大事なものは「減災対策をすること」。予想数値に惑わされるのではなく、町民一人一人が精いっぱい減災対策をして災害に備えましょう。

#### 災害時応援協定締結

～町を優先的に応援～

25年12月に下記の3協定を締結しました。

##### ▶災害時の物資に関する協定

釣り具のフレンド松前店と締結。災害時にボートやライフジャケットなどの救助資器材を町に優先的に供給してもらえるようになりました。

##### ▶災害時の復旧に関する協定

四国電力と締結。災害時に町の災害対応拠点となる庁舎電力を優先的に復旧してもらえるようになりました。

##### ▶災害時における電気資機材等の配備についての協定

伊予電気工事協同組合・愛媛県電気工事工業組合と締結。災害時、指定避難所への発電機や投光機の配備、避難所の電気設備の応急点検をしてもらえるようになりました。

## 平成26年度 放課後児童クラブ入会希望者募集

■対象児童 町内の小学校に通う1～3年生で、保護者や同居の親族（65歳未満）が就労や療養などで、下校時から18時ごろまで保育できない児童

※障がい児は6年生までお預かりできます。事前にご相談ください。

■期間 26年4月1日㊗～27年3月31日㊗

■時間 ▷㊗～㊗…下校時～17時（11月中旬～2月中旬は16時30分）▷㊗、繰替休日、夏・冬・春休み中の㊗～㊗…8時30分～17時（11月中旬～2月中旬は16時30分）

※保護者のお迎えが可能な人は18時まで利用可

※㊗、㊗、お盆、年末年始、地方祭は休み

■場所・定員数 ▷松前小学校内なかよし学級 60人

▷北伊予小学校内いきいき学級 60人 ▷岡田小学校東側専用施設ふれあい学級 60人

■保護者負担額 ▷児童1人当たり月額3,000円 ▷傷害

保険料 年額800円

※夏休み期間中に午前・午後とも利用する場合は、7月1,000円、8月3,000円の追加料金あり

※ひとり親家庭や兄弟姉妹で入会するときは減額措置あり

■指導内容 指導員が体育レクリエーション、学習活動、児童の生活指導などを行います。

■申し込み方法 入会申請書（学校を通じて配布、町ホームページからダウンロード可）、勤務証明書または診断書など保育できない証明書（保護者や同居の親族全員分）、同意書に傷害保険料を添えて提出してください（郵送不可）。※兄弟で入会の場合、勤務証明書や診断書、同意書の提出は1部で構いません。

■締め切り 2月28日㊗（執務時間中）

■申込先 福祉課児童福祉係 ☎985-4114

## 学校生活支援員募集

■募集人員 19人

■資格 ①18歳以上60歳未満の人（昭和29年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた人）②地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人 ③学校教育に理解があり、指定された町立幼稚園、小・中学校に勤務できる人

■職務内容 ①授業中の援助、移動・給食介助などに必要な支援 ②病児の見守り ③その他教育委員会や校長から指示された職務

■勤務時間 1日5時間か3.5時間（5時間17人、3.5時間2人）

■勤務日 ㊗～㊗（春・夏・冬休み期間中勤務なし）

■賃金 時給864円（規定の通勤手当あり）

■試験方法 書類審査の上、面接で決定します。

■面接日・場所 2月22日㊗・松前町役場（面接時間は本人に別途通知）

■申し込み方法 学校生活支援員申込書に記入し（免許・資格がある場合は、それも記入）、持参してください（郵送不可）。申込書は学校教育課にあるほか、町ホームページでダウンロードできます。提出書類は返却しません。

■募集期間 2月3日㊗～2月14日㊗の執務時間中

■申込先 学校教育課 ☎985-4134

## 広報モニター募集

■募集人員 10人

■資格 ①町内に居住する人 ②松前町に選挙権を有する人 ③広報モニターを経験したことがない人

■活動内容 広報モニター会議への出席（年1回）、アンケート調査の回答（月1回）

■任用期間 平成26年4月～27年3月

■謝礼 12,000円（年間）

■選考方法 幅広い意見をもらうため、地域、年代、性別などを

考慮して選出。選出した人へ、選考結果を3月下旬に個別通知

■申し込み方法 住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号、広報まさきを読んでの感想を記入し、はがき、封書、ファックス、メールでお申し込みください。

■締め切り 2月28日㊗（執務時間中）

■申込先 〒791-3192 松前町大字筒井631 松前町役場総務課広報情報係 ☎985-4132 F A X 985-4148  
メール 333koho.j@town.masaki.ehime.jp

無料調停相談会

相談

えひめ結婚支援センター  
 メール office@msc-time.jp  
 ☎ 933-5596

「えひめ結婚支援センター」は、県が県法人会連合会へ委託し、独身の男女に出会いの場を提供しています。これまで1200回以上の結婚支援イベントを開催。4600組以上のカップルを誕生させています。このイベントをお手伝いしてくれる「ボランティア推進員」を募集します。まずは説明会にお越しください。

▼日時 2月13日(木)  
 ① 14時～16時 ② 18時～20時  
 ▼場所 松山商工会館 4階会議室(松山市大手町2-5-7)  
 ▼申し込み方法 氏名、電話番号、参加希望日時を記入してメールでお申し込みください。  
 ※婚活中の人、婚活関連業の人は申し込みできません。  
 ▼申込先  
 えひめ結婚支援センター  
 メール office@msc-time.jp  
 ☎ 933-5596

募集

えひめ結婚支援センター  
 ボランティア推進員

▼日時 3月2日(日) 10時～16時 ※受け付けは15時30分まで  
 ▼場所 フジグラン松山 2階多目的ホール(松山市宮西1-2-1)  
 ※相談無料・秘密厳守・予約不要  
 問 松山調停協会(松山地方裁判所内)  
 ☎ 903-4375

お知らせ

差押え不動産公売会

▼日時 3月4日(火) 10時30分受け付け開始  
 ▼場所 松山税務署 7階共用会議室(松山市若草町4-3 松山)

消費力アップ通信

引っ越しトラブルを防ごう

引っ越し時には段ボール箱に内容物を明記し、数の確認を忘れずに。

●相談事例

引っ越し時に家具に傷ができていた。事業者に賠償してもらえるか?

●アドバイス

- 1 万が一、傷、破損や紛失などのトラブルがあった場合は、標準引っ越し運送約款に基づき、賠償を受けられます(申出期限は3カ月以内)。
- 2 見積書は証拠書類となります。大切に保管しましょう。
- 3引っ越し後は早めに荷をといて、中身を確認しましょう。
- 4 貴重品は自分で運ぶようにしましょう。

安心して役場の相談窓口にご相談ください!

相談は秘密厳守。匿名でも相談できます。情報提供も受け付けています。

- ▷消費者ホットライン ☎ 0570-064-370
  - ▷消費生活相談窓口(産業課内) ☎ 985-4120
- 毎週火曜日は専門の相談員が対応します。

●2月の納税●

固定資産税 第4期  
 国民健康保険税(普通徴収) 第8期

納期限は2月28日(金)

◎納期限内にお納めください◎

口座振替は2月25日(火)

町県民税・国民健康保険税(特別徴収分)2月期分は年金支給日に差し引き納付となります。

人のうごき

(H 25.12.31 現在)

区分	人口	前月比
男	14,777	+ 8
女	16,393	+ 6
合計	31,170	+ 14
世帯	13,035	+ 12

若草合同庁舎  
 ※詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。  
 問 松山税務署 評価公売専門官  
 ☎ 941-9121 (内線238)  
 ホームページ  
<http://www.nra.go.jp>

消防署  
 だより

松前消防署 ☎ 984-3404

平成 25 年救急・火災報告

平成 25 年中の松前消防署管轄内の救急・火災件数をまとめました。

◆救急出動 1339 件

救急出動件数は1339件で、前年より8件増加しており、5年間で184件増加しています。これを救急搬送人員(1266人)で見ると、軽症734人(全体比58%) 中等症405人(全体比32%)、重症104人(全体比8%)、死亡23人(全体比2%)でした。軽症の割合が50%を超えています。

救急車の不適切利用の具体的な定義はありませんが、例えば、皆さんの家族が病院の待合室で長時間待っているときに、元気そうな人が救急車で搬送されてきたら、どんな気持ちになりますか? そういったことを考えると、自然と不適切利用は減少すると思います。

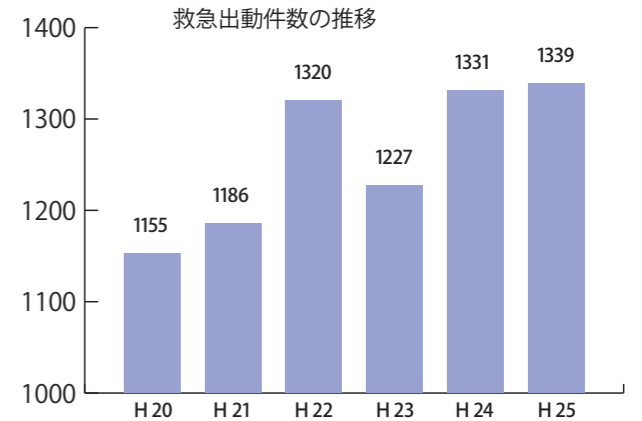
また夜間や休日に診療している初期救急病院については、▷松前消防署テレフォンガイド ☎ 984-0019 ▷伊予消防本部テレフォンガイド ☎ 982-5959 で案内しています。緊急性が低いと思われる場合は、2次救急病院である救急当番病院ではなく、こちらを利用してください。

助かる命を無駄にしないためにも、皆さんのご協力をお願いします。

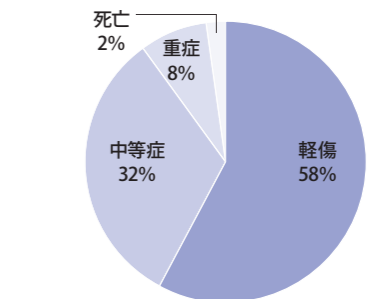
◆火災出動 7 件

火災件数は7件、火災損害額は815万円(調査中の2件は除く)でした。内訳は、建物火災2件、その他火災3件。火災による死者は1人、負傷者は1人でした。

出火原因別でみると、たき火が3件、焼却炉1件、こんろ1件、調査中2件となっています。



平成 25 年中の緊急搬送者傷病程度の内訳



軽 傷…入院加療を必要としないもの  
 中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの  
 重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの  
 死 亡…診察時に死亡が確認されたもの

これから空気が乾燥した状態が続く、春が近づくとつれて風が強くなります。火災の起こりやすい気象状態になりますので、火の取り扱いには十分注意してください。



12月22日、平成25年最後の事業は、子どもたちが楽しみにしているクリスマスケーキ作り教室でした。  
朝早くから、親子連れ、友達同士など10組、24人が参加してくれました。  
兵頭先生をはじめ2人の講師の指導のもとで、今回はガトーシヨコラに挑戦。お母さんや友達と一緒に、みんな気分は「パティシエ」。泡立て器に集中するその表情は真剣そのものでした。試食会場では審査員気分、お友達と出来栄を比べたりしながら、おいしそうに食べていました。  
引き続き本年も、このような楽しい雰囲気行事をしていく予定です。

<b>東 公民館</b>	
神崎210 ☎984-11159	クリスマスケーキ 作り教室

<b>おはなしかい</b>	
日時	2月15日(土) 11時
場所	文化センター2階 第2研修室
小さいお子さんから大人まで楽しめるおはなしかいです。皆さん、ぜひ来てみてください。	
<b>2月のふるさとライブラリー</b>	
○開館時間	9時30分～19時
○休館日	2月17日(月)～28日(金) ※蔵書点検のため

◆名もなき日々を／宇江佐真理  
◆インフェルノ 上・下／ダン・ブラウン  
◆もの忘れは治る！／奥村歩  
◆至高の音楽 クラシック永遠の名曲／百田尚樹  
◆ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。／石井光太  
◆てんじつきさわるえほん ぐりとぐら／なかがりえいこ  
◆ルルとララのチョコレート／あんびるやすこ  
◆とてもおきなサンマのひらき／岡田よしとか  
※この他にもたくさんの本が入っています。

<b>図書館</b>
筒井633 ☎985-14140
松前町ふるさと ライブラリー



12月7日、風ひとつない素晴らしい天候のもと、本年度、西公民館の事業に参加した子どもたちを招いて「三世代交流もちつき大会」を実施しました。  
参加者の顔ぶれを見て、少しばかり不安になりました。幼稚園児に小学校低学年生、しかもほとんどが女の子なのです。でも無用の心配でした。大人が手伝おうとすると「一人でできます」とやる気満々の一年生。「私もつかしてもらっていいですか」と積極的なお母さん。そして元気な老人会、婦人会、有志の皆さんのチームワークで30キロの餅をつきあげました。  
笑顔満開の、三世代の心が通い合った一日となりました。皆さんありがとうございました。

<b>西 公民館</b>	
北黒田966-2 ☎984-15313	三世代交流 もちつき大会

一般書	<b>花咲小路一丁目の刑事</b> 小路 幸也 著 / ポプラ社
	花咲小路商店街で「和食処あかさか」を営む祖母のもとに居候中の若手刑事の淳。非番の日になると祖母から商店街の相談ごとを持ちかけられて…?

一般書	<b>はじまりは図書館から</b> 草谷 桂子 著 / 子どもの未来社
	30年以上図書館活動にかかわった著者が、図書館の魅力を描いた絵本の数々を紹介する。市民が図書館に何を望み、どんなことが実現できたかという実践例も掲載。

児童書	<b>おふろのくまちゃん</b> シャーリー・パレント 著 / 岩崎書店
	お湯、せっけん、タオル。さあ、おふろの時間。ちやくまちゃんがみんなを呼びました。ところがくまちゃんたちは、おふろに入るのを嫌がって…。

児童書	<b>こやぶ医院は、なんでも科</b> 柏葉 幸子 作 / 佼成出版社
	仮病をつかって病院に連れてこられたさやは、病院の待合室で、さやと同じように仮病をつかったきつねのこなたにであう。ふたりはこわそうなこやぶ先生に怒られ、手伝いをさせられることに…。



「地域の連携・協力は、いつ深めたらいいの?」  
「今でしょう。今こそでしょう」とばかりに、各分館(大間・上高柳・恵久美・昌農内・西高柳・西古泉・北川原・塩屋)役員が出席して公民館活動や社会教育について語り合いました。  
今抱えている課題を各分館主事さんに発表してもらったところ、  
・文化祭などの各種行事への参加意欲の低下  
・行事のマンネリ化による人員確保の困難さ  
・役員不足  
などが共通の話題となりました。これらの解決として、「地域の多くの知恵と協力を結集することで乗り越えられたら」と、希望をつないで散会しました。来年の解決発表が今から楽しみです。

<b>北 公民館</b>	
昌農内456-1 ☎984-17529	「語る会」での話題は

◆肥満の解消  
・連続して20分以上できる運動をする。(ウォーキング・エアロビクス・水泳など)  
・脂肪分や糖分の多い食事を控え、野菜を中心とした食事に変える。  
・三食を決まった時間にゆっくり食べ、腹八分目の食事を心掛ける。

◆肥満の2つのタイプ  
①皮下脂肪型…お尻や太ももの皮下に脂肪がつき下半身が太っている。  
②内臓脂肪型…お腹辺りの内臓周りに脂肪がつき上半身が太っている。  
◆肥満に関わる生活習慣病  
内臓脂肪型の肥満は、高血圧、糖尿病、高脂血症や動脈硬化など生活習慣病になる危険性が高くなります。

<b>包括支援</b>	
筒井710-1 ☎985-14205	松前町地域包括 支援センター

## ふるさと歴史散歩 105

～松前史談会レポート～

### 鶴吉の1番地巡りII

夏川を二つ渡りて田神山 子規

この句は、子規が永田村の武市庫太を何度も訪れ、北伊予地区の俳句が大変盛んとなるきっかけを作ったことや谷上山宝珠寺へ参詣する谷上道が当時の松山人にはよく知られていたことを伝えている。この道は古川から中川原橋を渡り、現北伊予駅西・黒住さん西・昔の藩境に沿って伊予神社の前に出ていた。

上三谷篠田・鶴吉遺跡(仮称)の発掘調査が始まっている。期間は平成27年3月まで、調査面積は約4万㎡の予定。遺跡の背後の山並みには大小さまざまな古墳が見つかっている。近くには、北井戸遺跡・出作遺跡・蓼原遺跡、伊予市の市場南組築跡もある。このあたりは大規模なムラ＝大都会だったのでは？

- 本村のお菓っさんの虫祈禱の念仏「なみあぶだーぶつ、なんまいだー、いねのむしがめむいだ」と、このときに使う鉦の裏に書かれた「鶴吉村正覚庵」
- 相原賢・修先生の墓地と「想いでの庭」の顕彰碑
- 安井のお稲荷さんと常夜灯(じょうとさん)
- 松山藩と大洲藩の藩境の石
- お替地・賀佐と伊予市上野高瀬・提とのつながりは？
- 三滝や弾門田は何と読むの？ どんなどころかな？(※)
- 改修前の三つ川(改修後は長尾谷川)や新開泉の川浚えの様子 など面白い話がいっぱいあるが、書ききれない。



1 上三谷・鶴吉の発掘調査中遺跡字幸殿(こどの)は神殿(こうどの)かも。地域が大変貌する？

2 鶴吉一番地周辺水源池・押し上げポンプ方面の説明を聞く



※三滝(さんたき)には水車や精米所があった弾門田(ぜもだ)

2月のふるさと歴史散歩は休みます。

◎ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

## Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



### 4年連続でマラソン大会優勝

永井 飛向 くん 北伊予小6年・徳丸  
Nagai Hinata

北伊予小学校6年生の永井飛向くん。マラソンを全力で頑張る男の子です。

「2年生のときのマラソン大会で2位だったのが悔しくて…。それから走るようになりました」と、走り始めたきっかけを話す飛向くん。そのときの悔しさを力に変えて、学校の「おはようマラソン(※)」では常に全力で走り続けました。こうした努力の結果、3年生以降のマラソン大会では、1位の座を誰にも譲らなかった飛向くん。4つの輝く金メダルを手にして、「1位になれてうれしかった」と飛向くんは話しますが、現状には満足していません。「学校の新記録を目指したけれど達成できなかった」と、目標が達成できなかった悔しさもにじませます。

「走るのが楽しい」と話す飛向くん。「中学校でもマラソンを頑張りたい」と、次の目標を定めています。「悔しい」という感情を力に変えて、努力し続けてきた飛向くん。そんな飛向くんはこれからも努力を続け、その脚力にますます磨きをかけていくことでしょう。

※朝の時間に、運動場をみんなで走っています。

## 1歳です。よろしくね

ほりうち あかり  
堀内 緋莉 ちゃん

東古泉  
平成25年2月12日生  
(父) 晋平さん (母) 麻里さん  
笑顔いっぱい元気に育ってね♡



きの まなみ  
木野 愛実 ちゃん

北川原  
平成25年2月9日生  
(父) 昭範さん (母) 晶さん  
笑顔のかわいいまなちゃん。  
元気で大きくなってね!



おおまさ ももか  
大政 李華 ちゃん

筒井  
平成25年2月16日生  
(父) 隆亮さん (母) 花奈さん  
これからもすくすく元気に育ってね!



すえみつ たける  
末光 尊 くん

西古泉  
平成25年2月19日生  
(父) 聖さん (母) 束紗さん  
たけるの笑顔に癒やされます。  
大きく元気に育ってね。

なかたに そうた  
中谷 聡太 くん

北黒田  
平成25年2月22日生  
(父) 睦さん (母) 薫さん  
元気に育ってくれてありがとう。  
聡ちゃんの笑顔が大好きだよ。



### 4月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可)を持参してください。  
\*先着6人です。  
募集期間 2月3日⑨～2月17日⑨  
▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

### おうちで給食

recipe 60 すいとん



#### ●材料● (4人分)

- 薄力粉……………30g
- 上新粉……………15g
- ごま油……………少々
- 塩……………少々
- 若鶏もも……………100g
- 油揚げ……………20g
- 里芋……………120g
- ニンジン……………50g
- 大根……………50g
- 葉ネギ……………25g
- だし煮干し……………20g
- 水……………500g
- 麦みそ……………50g
- 赤みそ……………15g

#### ●作り方●

- 1 大根、ニンジンはいちょう切り、葉ネギは小口切り、里芋は大きさによりいちょう切り、半月切りか輪切り、油揚げは短冊切り、鶏肉は一口大に切る。
- 2 ボールにAと適量の水を入れ、練り混ぜる。(一口大に丸めたり、入れるときにちぎったりして入れる。)
- 3 煮干しでだしをとる。
- 4 だし汁に鶏肉を入れ、煮立ったらアクをすくう。
- 5 里芋、大根、ニンジンをに入れて柔らかくになったら、2で作った生地と油揚げを入れ、火が通ったらみそで味付けし、葉ネギを散らして火を止める。

# 行 ってこーわい 会 ってこーわい

## たかし 「小笠原峰士さん」

全国都道府県対抗男子駅伝大会に出場  
愛媛県の代表として広島を駆け抜けた

No. 65

1月19日、全国の並み居る強者が集った全国都道府県対抗男子駅伝大会(各県の中学生～社会人代表が参加)。その大舞台に北伊予中学校3年生の小笠原峰士さんの姿がありました。

愛媛県の代表として2区を任された小笠原さん。「上位で回ってくることは予想していたので、流れを壊さないように走りました」と話します。その言葉のとおり、16位という好位置の流れに乗り、堂々とした走りを見せた小笠原さん。「ベストタイムではなかったけれど、区間10番代を達成できたのでよかった(3キロ8分52秒)」と、順位を2つ上げて14位でたすきをつなぎました。

小笠原さんの脚力を支えているのは、日々のトレーニングです。「小学校のころから朝の時間に走っています」と話す小笠原さん。今でも、朝夕の個人トレーニングに加え、同級生と朝の時間に運動場を走るなど、努力を惜しみません。

「この大会の練習で高校生と一緒に走ることがあって、学ぶものがありました」と話す小笠原さん。「少しでも多く全国大会に行く」という目標を掲げ、4月から高校で本格的に陸上に取り組む予定です。上を見据えて常に努力を惜しまない小笠原さんの挑戦は、これからも続きます。



1. 「走るのが楽しい」と話す小笠原さん。日々のトレーニングも嫌と思うことはありません 2. 全国都道府県対抗駅伝大会の様子。声援を力に変えて、走り抜きました

### ▼編集後記

消防出初式を取材しました。凍てつくような寒さの中で、一糸乱れぬ分列行進や一斉放水。そこには人のため、地域のために尽くし、無火災・無災害を願うという思いが詰まっています。▽義農作兵衛の死から280年余り。豊かになった現代では、飢饉で人のために尽くすというのは考えられませんが、でも、災害時に人のために尽くすということは、一人一人が考えなくてはいけないのかもしれません。(松田)

まつまえの子どもと交流する子どもたち、マラソンを頑張る子どもたちなど、今月はたくさんの子どもたちを取材しました。その中で思ったことは、みんな「もっとほしい、〜なりたい」と積極的に行動して生き生きしているということ。その一方で「できれば〜したくない、避けたい」と消極的な自分。:。 「もう大人だから」と型にはまらず、何事も前向きに積極的に頑張ろうと思いを直した取材でした。(久保)

Proud! Japan

## 広報まさきに有料広告を載せませんか？

広報まさきに掲載する有料広告を募集しています。希望者は、町ホームページをご覧ください。

### ◆広告掲載枠

広報まさきの裏表紙  
(下欄3枠、1枠の大きさは縦40ミリ×横60ミリ、フルカラー)

### ◆配布状況

毎月1日発行。発行部数1万1500部。町内全世帯へ配布

### ◆広告掲載料

1枠、1月当たり2万円

☎総務課広報情報係 ☎985-4132